

## 令和7年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・題材と自分自身の生活を関連付けて考える機会を設けたことで、主体的に取り組む態度が見られる生徒が増加した。
- ・ものづくりへの関心が高い生徒が多い。

#### (2) 課題

- ・情報や知識をもとに、論理的に自分の考えを深めて表現することが苦手な生徒が多い。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	実施なし		
第2学年	実施なし	実施なし (第1学年時)	
第3学年	実施なし	実施なし (第2学年時)	実施なし (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校での既習事項と関連付け、知識を身に付ける。技能は、個人差がある。	題材と自分自身の生活を関連付け、論理的により深く考えて表現することに課題がある。	自分で立てた見通しをもとに、課題に対して主体的に取り組むことができる。

##### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活についての基礎的な理解を図ることができている。技能は個人差がある。	社会や生活の中から課題を設定し、その課題を解決しようとすることができる。	学んだことを生かし、生活や社会をよりよくしようとする姿勢が見られる

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識は、概ね身につけることができている。技能は、個人差がある。	題材と自分自身の生活との関連について理解しているが、論理的により深く考えて表現することに課題がある	ものづくりに関して、自ら進んで取り組むことができるが、見通しをもって取り組むことに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し、自分に合った方法で知識を身につけられるようにする。技能は、小学校での既習事項をもとに基礎・基本を定着させる。	ICT 機器を活用したり、話し合ったりして、物事を多面的に考えることができる機会を設ける。	自分の生活と関連付け、一人ひとりが見通しをもって粘り強く学習に取り組むことができるようとする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し、自分に合った方法で知識を身につけられるようにする。技能は、既習事項を活用できるようにする。	生活の中での課題を見つけ、解決できるように、多面的に考えることができる機会を設ける。	自分の生活と関連付け、一人ひとりが見通しをもって粘り強く学習に取り組むことができるようとする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習事項を活用できる機会を多く設定する。	生徒自身の生活を振り返り、身につけた知識・技能を自分や他者のために活用できるように考えさせる。	ICT 機器を活用し、指示を待つのではなく、自ら進んで作業を進める主体性を身につけさせる。